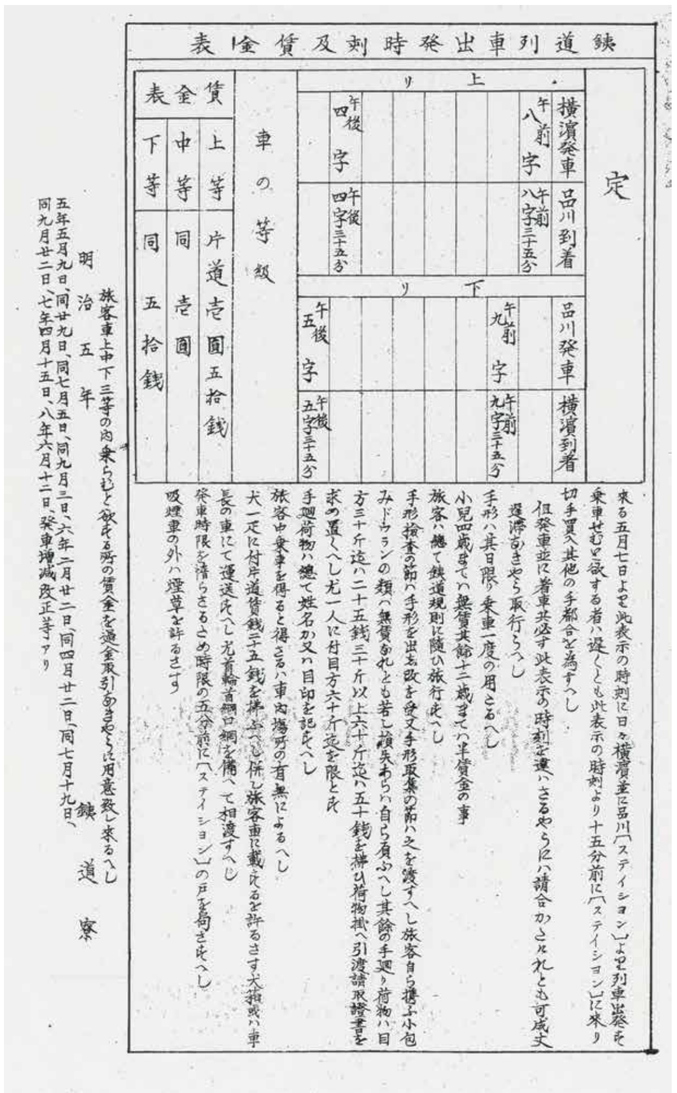
III 東京府の公文書・資料

汽笛一声 － 鉄道の敷設

「東京新橋鉄道繁栄并高輪遠景」

明治5年（1872）9月12日、新橋―横浜間で日本初の鉄道が開業します。当日は明治天皇臨席のもと、新橋駅において盛大な開業式が行われました。蒸気をあげて走る機関車と、お雇い外国人ブリジェンスの設計による木造石張り西洋風建築の新橋駅舎は、近代化の先駆けとなりました。

右に掲げた表は、開業式以前の5月7日、品川―横浜間での仮開業に際し定められた「鉄道列車出発時刻及賃金表」です。運行は1日2往復で、所要時間は35分。運賃は上・中・下の3等級に分かれていました。切符は「切手」「手形」と称されています。さらには犬の運賃まで定められているなど、興味深い情報を読み取ることができます。



鉄道列車出発時刻及賃金表

定		上リ		下リ	
横濱発車	品川到着	午前八字	午後四字	品川発車	横濱到着
午前八字	午前八字三十五分		午後四字三十五分	午前九字	午前九字三十五分
午後四字	午後四字三十五分			午後五字	午後五字三十五分

車の等級

賃金表	
上等	片道壱圓五拾銭
中等	同壱圓
下等	同五拾銭

明治五年

旅客車上中下三等の内乗らむと欲する所の賃金を通金取引あきやうに用意致し来るへし

五年五月九日、同廿九日、同七月五日、同九月三日、六年二月廿二日、同四月廿二日、同七月十九日、同九月廿二日、七年四月十五日、八年六月十二日、発車増減改正等アリ

鉄道寮

法令類纂巻之七十一